

開講日	2016年秋期 火曜日 18:30-20:00	講義場所 受講資格	病院西棟1階 臨床シミュレーションセンター 実習あり	定員	30名程度
コースディレクター	名古屋市立大学病院 救急科 部長 笹野 寛(臨床シミュレーションセンター センター長)				

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】 急性期医療・災害医療などの緊急事態に対応する知識や様々なスキルを講義および体験型実習形式で学びます。</p> <p>【期待される成果】 急性期医療・災害医療の現場で利用できるスキルと知識を得ることで、緊迫した状況でも慌てず自分の力を発揮でき、緊急の現場で円滑なチーム医療を提供できるようになることを目指します。</p>
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	フィジカルアセスメント	救急診療に必要な身体診察技法について学びます。	9月6日	部長 松嶋麻子(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-1	2	心肺蘇生法と除細動器1	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際を、マネキンを使って体験学習します。	9月13日	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-2	3	心肺蘇生法と除細動器2	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際を、マネキンを使って体験学習します。	9月20日	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-3	4	気道管理法	用手および器具を使った気道確保・管理法や、窒息傷病者に対する緊急処置を体験学習します。	9月27日	部長 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-2	5	病院前救急医療体制	救急システムと一般市民にできる救急蘇生法と応急手当について学びます。	10月4日	金子 洋(実務家教員) 名古屋市消防局
S-4	6	アナフィラキシーショック	アナフィラキシーショックに対応するためのエピペン(アドレナリン)の使用などについて学びます。	10月11日	部長 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-3	7	脳卒中の初期治療	脳卒中患者の救急外来における標準化された初期診療について講義形式で学びます。	10月18日	副部長 三浦 敏靖(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-4	8	小児科救急疾患	小児科領域の救急疾患とそのプライマリーケアについて講義形式で学びます。	10月25日	副センター長 長崎 理香(実務家教員) 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター(小児科)
L-5	9	急性冠症候群の初期治療	急性心筋梗塞や狭心症など、いわゆる急性冠動脈症候群の初期診療について講義形式で学びます。	11月1日	講師 武田 裕(実務家教員) 名古屋市立大学病院循環器内科
L-6	10	急性腹症の鑑別	救急外来で頻繁に見かける腹痛の鑑別疾患について講義形式で学びます。	11月8日	講師 兼松 孝好(実務家教員) 名古屋市立大学病院総合内科
L-7	11	災害医療体制	予想される東南海トラフ地震などに備えた災害医療における我が国の医療体制について講義形式で学びます。	11月15日	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-5	12	災害時におけるトリアージ	災害時に必要なトリアージについて模擬患者での体験学習をします。	11月22日	清水 真名美・塚本直哉 名古屋市立大学病院 救命救急センター看護師
L-8	13	外傷の初期対応 (胸部・腹部・骨盤外傷など)	外傷に対する初期対応について講義形式で学びます。	11月29日	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-9	14	てんかん・神経疾患	脳卒中以外で救急外来を訪れることの多い、神経疾患について講義形式で学びます。	12月6日	副部長 三浦 敏靖(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-10	15	中毒・熱傷の管理	救急診療に必要な中毒および熱傷の管理方法について学びます。	12月13日	部長 松嶋麻子(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科